

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	都市機能を集約したコンパクトなまちづくり																				
計画の期間	平成 3 1 年度 ～ 平成 3 5 年度 (5年間)										重点配分対象の該当		○								
交付対象	一宮市																				
計画の目標	外崎地区の基盤施設の整備による都市の再生、防災性・安全性の向上を目指すとともに、本市都市計画マスタープランに位置づけられた「地域の拠点」として、本市立地適正化計画に整合した都市機能を誘導・集約し、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりによる市南部のにぎわいの核の形成を目指す。 また、住民協働のまちづくりにより、地域コミュニティの維持・向上を図り、暮らしやすい居住環境の創出を目指す。																				
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		142		A	141		B	0		C	1		D	0		効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0.7		%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30		H35
1	本市における外崎地区内の居住人口比率を0.25%（H30）から0.26%（H35）に増加させる。 外崎地区内の居住人口比率の増加・維持を計測する。	25%/100	%/100	26%/100
2	外崎地区における住民協働まちづくり勉強会等の参加人数を740人（H26～H30）から900人（H31～H35）に増加させる。 まちづくりに関する勉強会等に参加する延べ人数を計測する。	740人	人	900人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	一宮市	直接	一宮市	－	－	一宮外崎土地区画整理事業	都市再生区画整理 24.5ha	一宮市	■	■	■	■	■	141	1.06	－	
											小計						141			
											合計						141			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	C13-001	市街地	一般	一宮市	直接	一宮市	－	－	住民協働まちづくり推進 事業	まちづくりに関する住民勉強 会	一宮市			■	■		1	－	
		良好なまちづくり形成に向けた住民の意識向上が期待される。																	
												小計						1	
											合計						1		

事 後 評 価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
一宮市社会資本総合整備評価委員会において、事業実施状況・指標の達成状況の確認及び事後評価を実施	令和7年1月
	公表の方法 一宮市公式ウェブサイトで公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	指標 1 計画期間内に土地区画整理事業区域内の都市基盤施設の整備をすることができなかったこと、仮換地の指定が令和5年度になったこと、及び土地区画整理法に基づき建築行為が制限されたことから住宅の新築が抑制されたため、外崎地区の居住人口比率は増加に至らなかった。 指標 2 新型コロナウイルス感染症の影響により、勉強会等の参加人数は減少、及び説明会を書面で開催したことから最終目標値には至らなかったが、外崎地区の「まちづくり構想図」を作成するなど勉強会の目的は達成でき、良好なまちづくり形成に向けた住民の意識向上が図れた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	外崎地区の居住人口比率は増加には至らなかったが、当地区内の世帯数に着目すると、393世帯(H30)から430世帯(R5)と約9%の増となっており、市南部のにぎわいの核の形成を目指す当地区における居住に対する需要は増加している。
○特記事項（今後の方針等）	
土地区画整理事業により、計画的に都市基盤施設を整備するとともに、保留地の販売等により、都市機能（商業施設・病院・健康増進施設など）を確保し、暮らしやすく質の高い居住環境の創出を図る。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	外崎地区の居住人口比率		
	最 終 目標値	26%/100	区画整理の進捗度の影響があったため
	最 終 実績値	24%/100	
2	勉強会等に参加した延べ人数		
	最 終 目標値	900人	新型コロナウイルスの影響により、一部予定していた説明会を書面での説明に切り替えるなどの対応をしたため
	最 終 実績値	620人	

参考図面（社会資本整備総合交付金）

